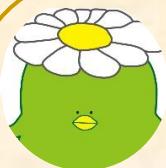


2025 つながるフェス

～丸山千枚田魅力発信プロジェクト～

Q. プロジェクトではどんなことを行うんですか？（メディア情報学科・2年生）



主に 2 つの分野に分けて活動しています。1 つ目は、実際に三重県熊野市に訪問し田植えや稻刈りなどの稲作のお手伝いをしています。年に 3 回ほど訪問します。田植えと稻刈りはプロジェクト学生以外の体験の学生も連れて行きます。現地での訪問のうち稻刈りと畔そりは 1 週間ほど滞在し農作業のお手伝いをします。2 つ目は、発信の活動です。主に Instagram での投稿をしています。それ以外に都内アンテナショップでの PR イベントの開催や相生祭の地域物産展で特産品の販売を行ったりしています。（社会マネジメント学科・3 年生）



丸山千枚田魅力発信プロジェクトの場合は、年に約3回現地へ出向き、1週間ほど稻作作業を行います。また、インスタグラムでの丸山千枚田や熊野市の魅力を発信したり、都内でのPR活動を行ったりしています。（社会マネジメント学科・3年生）

Q. このようなプロジェクトに参加したことがないため、一番最初に参加しやすいプロジェクトはありますか？（日本語日本文学科・1年生）



丸山千枚田魅力発信プロジェクトや本宮のプロジェクトは体験する機会があるので参加しやすい、プロジェクトの雰囲気を感じやすいと思います。それ以外ではノジマステラの活動など神奈川県内で行われ、単発で参加できるプロジェクトはハードルが低いと思います。（社会マネジメント学科・3年生）

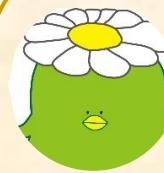


どのプロジェクトに参加するかは、各プロジェクトの活動報告を確認していた
だき、それぞれのプロジェクトが1年間何を行ったのか知れると、向いている
プロジェクトが分かるのではないかと思います！（社会マネジメント学科・3年生）

Q. 1人で参加することに不安があるのですが、参加されている方はどのような方が多いですか？（日本語日本文学科・1年生）



丸山千枚田魅力発信プロジェクトの体験生がいる田植えと稻刈りは、ひとりで
参加される学生さんも多いです。宿泊先の部屋が一緒だったり、学年がおなじ
であったことをきっかけにお友達になることも多いです。参加される方で多いと感じ
るのは観光が好きな方だと思います。（社会マネジメント学科・3年生）



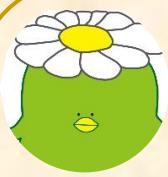
私は2つのプロジェクトに参加していますが、どちらも1人で参加しました。
興味があることは今のうちにどんどん挑戦して体験したい！と思い参加しまし

たが、今ではどちらのプロジェクトでも馴染むことが出来ており、現地の方々との交流も含めて全力で楽しんでいます 😊 (社会マネジメント学科・3年生)

Q. 参加することのメリットとデメリットはありましたか？ (日本語日本文学科・1年生)



メリット：貴重な稲作が体験できる。保全活動に携われること。地域の方と近い距離で関わりが持てる。過疎高齢化の問題を身近に考えることができます。コミュニケーション能力の向上。計画性がある。責任感が生まれる。デメリット：以前は田植えや稲刈りで大学からバスが出る日程では、費用が1万円ほどかかりました。(2025年の9月に行われた稲刈りでは就職支援課と連携教育推進課のクロスサポート制度により費用が無料になりましたが、今後もあるかは分かりません) (社会マネジメント学科・3年生)



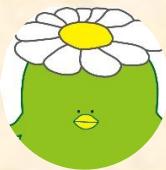
メリットは3つあって、「プロジェクトのメンバーや連携教育推進課の職員さん、現地の方々など幅広い人間関係を築くことが出来たこと」、「大人になったら絶対にできない、相模女子大学のプロジェクトならではの経験が出来ること」、「何よりも活動が楽しい！！」ことです！デメリットは、活動をする上でインスタグラム運用をしたり、定期的な提出物があったりすることです…。ですが、ちゃんと管理すれば大変と感じることはないかな～と思います。（社会マネジメント学科・3年生）

Q. 授業と被ってしまった場合、どうされていましたか？

（日本語日本文学科・1年生）

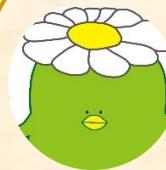


丸山千枚田魅力発信プロジェクトでは、活動は基本長期休みの期間にあります。授業期間内でも被りづらい日程に設定されています。それでも厳しい場合はどちらかを欠席したり、教授に相談したりしています。（社会マネジメント学科・3年生）



現地での活動は夏休みや春休みなどの長期休みに行うことが多いです。しかし、どうしても授業と被ってしまう場合は公欠は利用できませんが、先生にプロジェクト活動に参加する旨を伝え欠席しています。（社会マネジメント学科・3年生）

Q. 大学在学中にプロジェクトに加入したいと考えています。現地での活動に特に興味がありますが、コスト面が心配です。加入したきっかけや経緯を教えてほしいです。
(人間心理学科・1年生)



私は1年次の5月に開催された田植えの体験の案内を見て参加したのをきっかけに加入しました。費用は1万円前後(当時)でしたが、宿泊代とバス代等が込みで観光付きは魅力的だと思い参加しました。実際に訪問してみて、現地の景色に圧倒されたり地域の人々が暖かくもっと関わってみたいと思い加入了しました。1週間の滞在をするときは、その期間の作業がお給料として出ます。そのお給料で滞在中の宿泊代を支払う形になっています。実質無料になるようになっています。交通費は市役所

の予算から捻出されているので、基本費用として負担するものはありません。（社会マネジメント学科・3年生）



プロジェクトによっては、1つの活動ずつに参加費がかかる場合もありますし、年に一度1000円ほどの収集がある場合もあります。そこはプロジェクトによりますが、交通費は支給される場合が多いです！私は、この活動に参加したい！楽しそう！と思って加入したので、コストのことは全く頭にありませんでした…！入ってからは、参加費が少し高く感じる面はありましたが、こんなに沢山の経験が出来てこの金額で行けるのはなかなかないと思います。大人になって同じことを経験しようと思ったら、より多額のコストと時間がかかります…。なので、私はコストの面を考えても加入して本当に良かったと思っています！（社会マネジメント学科・3年生）

Q. プロジェクトに参加したことは就職活動に活かせますか？

(日本語日本文学科・1年生)



活かせると思います。経験を踏まえて成長したこと、活動に参加していて失敗したこと全てがアピールポイントなるかと思います(自己PRやガクチカに書ける)。ただ短期間での成長はなかなか厳しいかと思いますので継続的に何かプロジェクト活動に参加することをおすすめします。(社会マネジメント学科・3年生)



まだ就活が始まっていないので確実には言えませんが、活動の継続や現地へ出向くことでの様々な経験、人間関係など色んな観点から就活で役立てる要素が多いのではないかと思っています。(社会マネジメント学科・3年生)

Q. 学業、アルバイト、プロジェクトの両立が難しく、来年からは就活も始まるのでどのように時間配分をしていたか教えていただきたいです。(人間心理学科・2年生)



私の場合、授業期間内は学業とアルバイトに専念しています。長期休みを中心にプロジェクト活動に尽力しています。就活は私もまだまだなのであまり参考にはならないかもしれません、早めにエントリーや説明会に参加してインターンの予定を早めに知れるようにしておくと計画も立てやすいと思います。また年度始めにプロジェクト生で集まり年間の予定や準備できるもの、担当を確認する時間を設けると良いと思います。（社会マネジメント学科・3年生）



学業もアルバイトもプロジェクトをする上では両立大変ですよね…。学業ではそこまで影響を感じていないのですが、アルバイトが忙しい時はそちらを優先することもあります。逆にアルバイト先にはプロジェクト活動があることを伝え、プロジェクトに専念する時もあります！就活については、もちろんそちらを最優先していただき、もし時間に余裕が出来たらまたプロジェクトに参加するでも全然大丈夫です（社会マネジメント学科・3年生）

Q. プロジェクトメンバーを増やす為に行って良かったなと思う取り組みやイベントなどあれば教えてください。（英語文化コミュニケーション学科・3年生）



生)

田植えや稻刈りで公募生を募集すること。実際にやってみたり見てもらうと良い印象をもってもらいやすいと感じています。（社会マネジメント学科・3年生）



（社会マネジメント学科・3年生）

毎年の1年生のオリエンテーションですね。そこでプロジェクト紹介をさせていただくのですが、それをきっかけに公募生(プロジェクトには加入せず、一部の活動だけ参加できる)として一緒に活動してくれる方もいます！（社会マネジメント学科・3年生）

Q. プロジェクトで話を進める際に連絡を行っても返信がなく、話が進まないため一人で考えることがありました。そのような経験や、どのように対処すれば良いか教え

てください。（健康栄養学科・2年生）



リアクション必須と文面に入れたり、メンションしたり、期限を設けるなどある程度の緊張感をもたせるのも必要だと思って活動しています。（社会マネジメント学科・3年生）



一度連携教育推進課へ相談してみるのはどうでしょうか？また、そこからプロジェクト全員で対面のミーティングを行い、定期的に対面する形を取ってみると良いのではないかと私は思います！（社会マネジメント学科・3年生）